



## 録音プロファイルの設定

録音プロファイルを設定するには、次のトピックを参照してください。

- 「[録音プロファイルの設定値](#)」(P.80-1)
- 「[関連項目](#)」(P.80-2)

## 録音プロファイルの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [録音プロファイル (Recording Profile)] メニュー パスを使用して、録音プロファイルを設定します。

コールの録音のためにエージェントのライン アピアランスをプロビジョニングするには、1 つ以上の録音プロファイルを作成する必要があります。次に、ライン アピアランスの録音プロファイルを選択します。

### 録音プロファイルの削除のヒント

ライン アピアランスで使用中の録音プロファイルは削除できません。録音プロファイルを使用しているライン アピアランスを検索するには、[録音プロファイルの設定 (Recording Profile Configuration)] ウィンドウにある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中の録音プロファイルを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されている録音プロファイルを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する録音プロファイルを使用しているライン アピアランスすべてに、別の録音プロファイルを割り当てます。
- 削除する録音プロファイルを使用しているライン アピアランスを削除します。

### GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザー インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

**設定値表**

表 80-1 では、録音プロファイルの設定値について説明します。関連する手順については、「[関連項目](#)」(P.80-2) を参照してください。

**表 80-1 録音プロファイルの設定値**

フィールド	説明
[名前 (Name)]	録音プロファイルを識別するための名前を入力します。
[録音コーリングサーチスペース (Recording Calling Search Space)]	ドロップダウンリストボックスから、そのレコーダに設定されている SIP トランクに関連付けられたルート パターンのパーティションを含んだ、コーリング サーチ スペースを選択します。
[録音接続先アドレス (Recording Destination Address)]	この録音プロファイルに関連付けられているレコーダの Directory Number (DN; 電話番号) または URL を入力します。 このフィールドには、二重引用符 (")、逆引用符 (')、スペース ( ) の各文字を除く、任意の文字を入力できます。

**追加情報**

「[関連項目](#)」(P.80-2) を参照してください。

## 関連項目

- 「[録音プロファイルの設定](#)」(P.80-1)
- 「[録音プロファイルの設定値](#)」(P.80-1)